

新規就農先輩の軌跡 No.112

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="172 277 628 667" data-label="Image"> </div> <p>氏名：鎌田 頼一(かまた らいち) 住所：兵庫県豊岡市京町 年齢：28歳</p>	<p>農地：181.4a（借地181.4a） 施設：ビニールハウス1,440㎡ 経営内容： ・ほうれんそう15a・トウモロコシ100a ・白ネギ 40a・レタス 30a・大根 20a ・キャベツ 20a・タマネギ 20a ・白菜 30a・きゅうり 10.5a ・オクラ 10a・その他野菜・・・</p> <p>労働力：本人、父、雇用2名 出荷先：直売所、スーパー、加工会社、百貨店など</p> <div data-bbox="916 763 1342 1088" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1015 1106 1278 1144" data-label="Caption"> <p>5-7月収穫のレタス</p> </div>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>2015年3月 日本農業経営大学卒業 2015年4月 就農 2016年3月 規模拡大（借地） ハウスを増設 2019年 現在に至る</p>	<p>○良かった点 ・まだ成長過程なので、就農してよかったと思える点をこれから見つけていきたい。</p> <p>○苦労した点 ・就農以前にシミュレーションしていたことと現実との相違が就農直前はたくさんあり、それを限られた時間の中で修正していくことに苦労した。</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>高校在学時に叔父の稲作を手伝ったことがきっかけで、自分自身でも農業を仕事としてやってみたいと思い、愛知県の農家で研修、農業は農作業だけでなく、経営者としての面も重要だと感じ、生産管理と経営管理を両立した農業経営者を目指したいと思った。</p>	<p>・良き取引先を見つけ、その方々に認めてもらえる良き商品を生産することは重要だと思います。</p> <p>・お客様のニーズを聞く力、商品販売力は農業の形を問わず必要になってくる力だと思います。</p>